

第 I 部 東日本大震災と教育方法学の課題**1 東日本大震災からの復興と学校教育の課題** 小泉祥一 12

- 1 東日本大震災を新しい教育復興の出発点に
—自然・社会・人間のとらえ方の問い直し 12
- 2 東日本大震災による被害状況と子どもたちの状況 13
- 3 文部科学省の教育委員会への要請 15
- 4 被災3県の取り組み 16
- 5 東日本大震災からの教育復興の視点—自然・社会・人間のとらえ方の見直しによる第二の戦後教育の構築を 16
- 6 学校教育の課題 18
- 7 大学の社会貢献 22

2 命をつなぐ教育と学校を 小川嘉憲 23
—阪神・淡路大震災の体験から東日本大震災の被災地の教育を考える—

- 1 被災地の学校を通して「普通の学校」を問う 23
- 2 「子どもたちがケアし合う」関係を築く 26
- 3 参画と学びを通して子どもたちを権利主体に 28
- 4 震災後に培った「自己肯定感」と「生きる意欲」を支える 30
- 5 弱者を守るルールをつくる—福祉と教育が会う 32
- 6 防災教育……何が大事？ 34

3 教育方法学の問い直しと再出発へ向けて 梅原利夫 37

- 1 日本列島に生きる者としての客観的基本認識と生活者認識 37
- 2 生きる力と学力—教育方法学の基底分野 39

第Ⅱ部 防災・復興に取り組む教育方法

1 これからの防災教育 佐藤 健 50

- 1 子どもたちに求められる学習の主体性 50
- 2 地域素材を生かした防災教育 52
- 3 学校支援のための地域の教育力 54
- 4 社会的自己実現の機会としての子ども防災モニター 57
- 5 地域ぐるみの学び合い 59
- 6 まとめ 60

2 復興に取り組む地域・学校の現状 佐藤幸也 62

- 1 進まぬ復興 62
- 2 東日本大震災の特徴 63
- 3 児童生徒や学校の被災 66
- 4 震災後の児童生徒 68
- 5 震災後の教職員 70
- 6 新たな動きとこれからの学校、地域、大学 72

3 津波被害の現場から 遠藤定治 76

- 1 はじめに 76
- 2 震災による学校課題とその対応 77
- 3 学校再開に向けての取り組みと課題 79
- 4 「女川町復興基本計画」—心豊かな人づくり（人材育成） 80
- 5 具体的な取り組み 83
- 6 おわりに 85

第Ⅲ部 原発問題と教育方法

1 原発はどのように教えられるべきか 小林昭三 88

- 1 はじめに 88
- 2 安全神話による3.11フクシマは敗戦に匹敵する核惨事 91
- 3 ノーモア・ヒロシマ・ナガサキ，ノーモア・フクシマへの歴史的経緯 94
- 4 市民は3.11フクシマ前後に，原発はどのように教えられてきたか 96
- 5 日本原子力学会による教育分野の調査と「検閲的」評価 98
- 6 おわりに 102

2 「放射線って，なあに？」 増子啓信 106 —フクシマのこれからを生きる—

- 1 はじめに 106
- 2 「放射線って，なあに？」の授業実践とその考察 107
- 3 おわりに 119

3 原発問題を教える立場から 福田和久 121 —歴史を踏まえ，原発事故と向き合う実践とは—

- 1 はじめに 121
- 2 授業の指導計画と実際 122
- 3 授業の実際 123
- 4 実践を振り返って 129
- 5 おわりに 130